

単位	mm
縮尺	1/3

■仕様

電 源	AC100 V (50 Hz / 60 Hz)
消 費 電 力	待ち受け時 約1.9 W、動作時 約10 W
外 形 寸 法	高さ190×幅165×奥行39 mm (突起部除く)
質 量	約820 g
使用環境条件	周囲温度 0℃～40℃ 湿度90%以下
画 面 表 示	5.2型 IPS-TFT カラー液晶ディスプレイ
通 信 方 式	ハンズフリー方式
取 付 方 法	露出壁掛け (壁掛金具 付属)
外 観 材 質	難燃ABS樹脂 (パネル部: アクリル樹脂)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A接点出力※	定格負荷: AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷: DC 5V / 1mA
センサー入力	入力方式 : 無電圧メイク接点 検出確定時間: 0.1秒以上 接点抵抗値 ・メイク時 : 500 Ω 以下 ・ブレイク時 : 5 kΩ 以上 端子短絡電流: 5 mA 以下 端子間電圧 : DC7 V 以下 (端子間開放時)
LANインターフェース	10 Base-T / 100 Base-TX

番号	名 称
①	液晶ディスプレイ (LCD)
②	モニターボタン/ランプ (赤)
③	留守ボタン/ランプ (赤)
④	マイク
⑤	再生ボタン/ランプ (青)
⑥	録画ボタン
⑦	通話ボタン/ランプ (青)
⑧	マルチファンクションキー (方向ボタン)
⑨	マルチファンクションキー (決定ボタン)
⑩	ボイスチェンジボタン/ランプ (赤)
⑪	外部機器ボタン/ランプ (青)
⑫	終了ボタン
⑬	室内呼ボタン
⑭	機能 (明るさ/音量) ボタン
⑮	スピーカー
⑯	DC端子
⑰	DC端子ラベル
⑱	LANコネクタ
⑲	ACコード
⑳	ACカバー
㉑	ACカバー止めねじ
㉒	AC端子
㉓	コネクタカバー (壁掛金具の裏)
㉔	シリアルNo. ラベル
㉕	銘板
㉖	壁掛金具
㉗	IDラベル
㉘	MACアドレスラベル
㉙	リセットスイッチ

※ドアホン親機は、電源コードを外すと電源直結式になります。

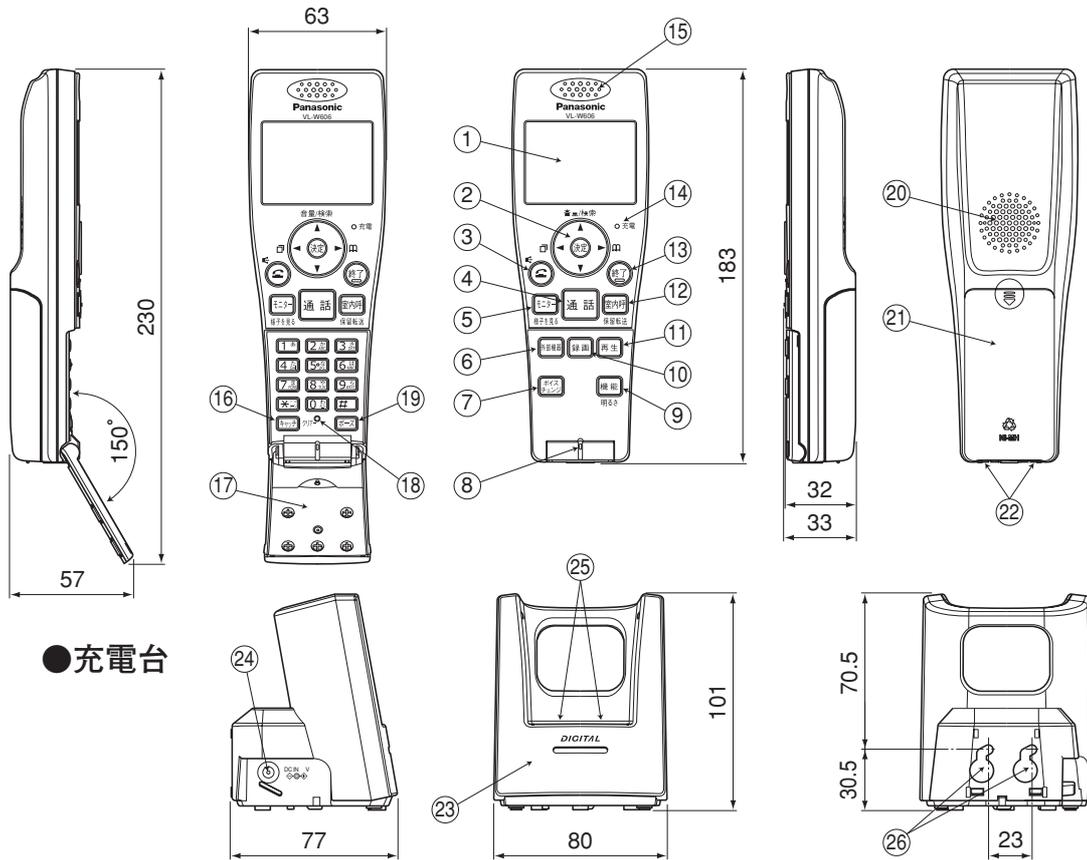
※ドアホンからの呼出し時や、別売りのカメラ・火災警報器・外部センサー・地震警報器の反応時に出力

■付属品

- 壁掛金具..... 1
- 小ねじ (4 mm × 25 mm)..... 2
- 木ねじ (4 mm × 16 mm)..... 2

仕様／外形寸法図／付属品			
セット品番	VL-SWN355KL	品 番	VL-MWN350KL
品 名	ドアホン親機 (カラーモニター親機)		

単位	mm
縮尺	1/3



●充電台

■仕様

〈子機 (ワイヤレスモニター子機)〉

電 源	専用ニッケル水素蓄電池(専用ニッケル水素電池) (品番:KX-FAN51) DC3.6 V/650 mAh
外形寸法	高さ183×幅63×奥行32 mm (突起部除く)
質 量	約210 g (電池パック含む)
外観材質	ABS樹脂 (パネル部:アクリル樹脂)
使用環境条件	周囲温度 0℃~40℃ 湿度90%以下
画面表示	2.5型TFTカラー液晶ディスプレイ
使用時間 (※1)	連続使用時間: ・ドアホン通話 (スピーカーホン) : 約2.5時間 ・外線通話 (受話口での通話) : 約5時間 (スピーカーホン) : 約5時間 待ち受け時間: 約200時間
充電時間	約8時間
使用可能距離	約100 m (見通し距離)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式

※1 約8時間以上充電した状態で、使用環境温度が20℃のとき

■付属品

- ACアダプター (コード長さ約1.8 m) …… 1
- 充電台 …… 1
- 電池パック …… 1
- 充電台壁掛け用  
木ねじ (3.5 mm×18 mm)、ワッシャー …… 各2

〈充電台〉

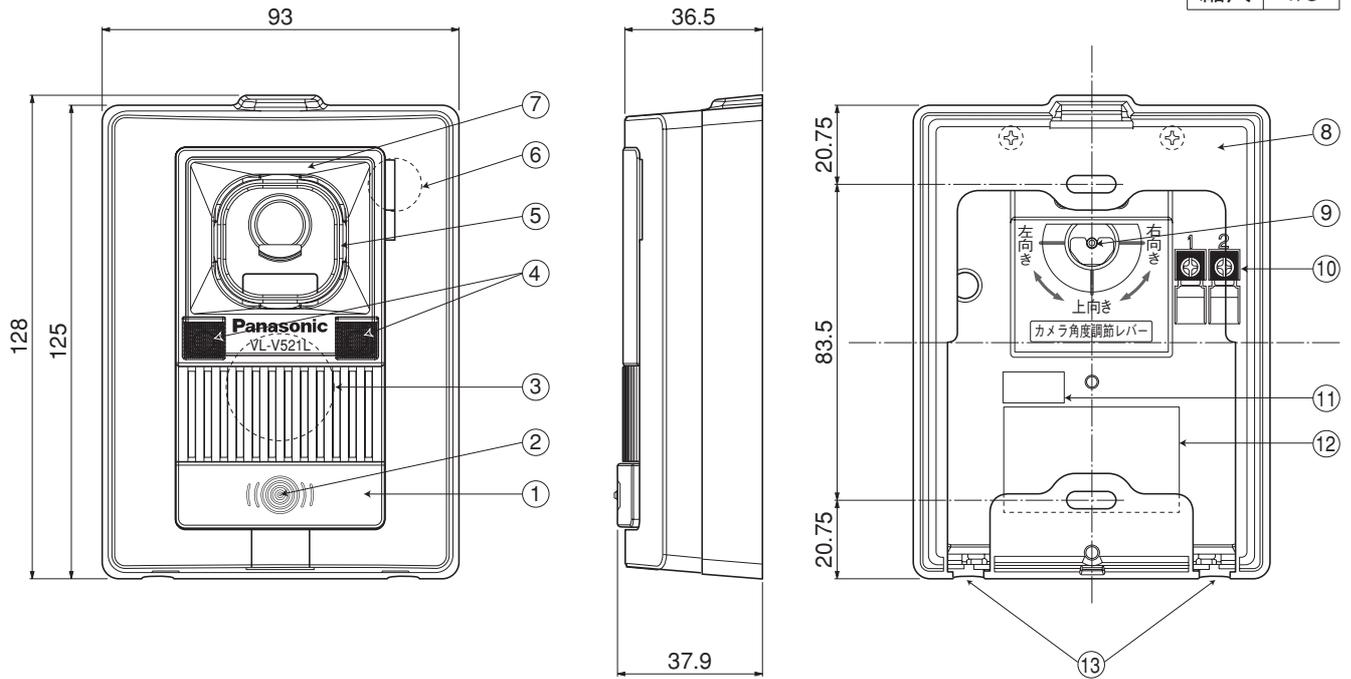
電 源	ACアダプター (品番:PFAP1013) AC100 V (50 Hz/60 Hz) DC8.5 V/270 mA
消費電力	待ち受け時約0.8 W、充電時約2.3 W
外形寸法	高さ101×幅80×奥行77 mm (突起部除く)
質 量	約93 g
外観材質	PS樹脂
使用環境条件	周囲温度 0℃~40℃ 湿度90%以下

番号	名 称	番号	名 称
①	液晶ディスプレイ	⑭	充電ランプ
②	マルチファンクションキー ([▲][▼][◀][▶][決定])	⑮	受話口
③	電話ボタン/ランプ (緑)	⑯	キャッチ/クリアーボタン
④	通話ボタン/ランプ (緑)	⑰	フリップ
⑤	モニター (様子を見る) ボタン/ランプ (赤)	⑱	開閉検知スイッチ
⑥	外部機器ボタン	⑲	ポーズボタン
⑦	ボイスチェンジボタン	⑳	スピーカー
⑧	マイク (送話口)	㉑	電池カバー
⑨	機能/明るさボタン	㉒	充電端子
⑩	録画ボタン	㉓	充電台
⑪	再生ボタン	㉔	充電台DCジャック
⑫	室内呼 (保留転送) ボタン	㉕	充電台充電端子
⑬	終了ボタン/ランプ	㉖	充電台壁掛け用孔
		—	—

仕様／外形寸法図／付属品

セット品番	VL-SWN355KL	品 番	VL-W606
品 名	子機 (ワイヤレスモニター子機)		

単位	mm
縮尺	1/3



■仕様

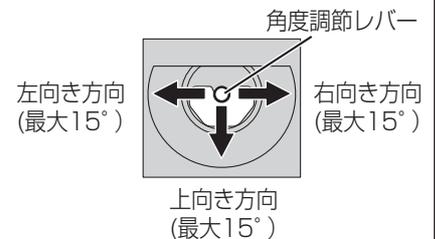
電源電圧	待受時DC約5V、動作時DC約20V(ドアホン親機より供給)
消費電流	待受時DC約2mA、動作時DC約160mA
外形寸法	高さ128×幅93×奥行36.5mm(突起部除く)
質量	約180g
外觀色調	シルバー
外觀材質	難燃樹脂
取付方法	露出型/JIS1コ用スイッチボックス(カバー付)に適合
使用環境条件	周囲温度-10℃~50℃ 湿度90%以下 (保護等級3 防雨形)
最低照度	1ルクス(カメラから約50cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)、赤外線LED
有効撮像範囲 (50cm前方面)	水平:約960mm 垂直:約650mm (カメラ角度:正面の場合)
カメラ角度調節 (カメラ角度調節レバー)	正面、左(右)15°~斜め7°~上向き15°自由調節 (取付け時設定)/出荷時(正面)

番号	名称
①	呼出ボタン
②	位置表示ランプ
③	スピーカー
④	LEDライト
⑤	カメラ部
⑥	マイク
⑦	レンズカバー
⑧	露出ボックス
⑨	カメラ角度調節レバー
⑩	接続端子
⑪	シリアルNo.ラベル
⑫	銘板
⑬	水抜き穴

■付属品

- 小ねじ 4mm×25mm……………2
- 木ねじ 3.8mm×20mm……………2

■カメラ角度調節レバー⑨の調節



<b>仕様／外形寸法図／付属品</b>			
セット品番	VL-SWN355KL	品番	VL-V521L-S
品名	ドアホン(カラーカメラ玄関子機)		

## ■ファクス親機 (KX-PW616-W) の仕様

電源電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.3W (Fネットの設定が「なし」の場合) 最大時：約130W (真っ黒の原稿をコピーするとき) コピー時：約18W 送信時：約10W 受信時：約15W
外形寸法	高さ約86×幅296×奥行191mm (受話器・突起部除く) 高さ約265×幅296×奥行231mm (記録紙トレイオープン時・受話器、突起部除く)
質量	約2.4kg (お試し用インクフィルム10m装着時)
使用環境条件	周囲温度：5℃～35℃ 湿度：45%～85%
適用回線	電話回線(ダイヤル回線・プッシュ回線) ファクシミリ通信網・新電電(NCC)回線
直流抵抗値	275Ω
形式	送受信兼用G3機
原稿サイズ	定型サイズ:A4～A5 最大：幅210×長さ600mm 最小：幅128×長さ128mm
有効読取幅	208mm (A4)
有効記録幅	202mm (A4普通紙)
電送時間※1	約15秒(独自モード)
通信速度	9600/7200/4800/2400bps 自動切替(フォールバック機能)
写真(ハーフトーン)	64階調
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：7.7本/mm(小さい)3.85本/mm(ふつう)
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
データ圧縮方式	モディファイドハフマン(MH)・独自
記録紙サイズ	A4カット紙：210mm×297mm
留守番電話	応答メッセージ：デジタル録音方式オリジナル(約12秒)固定内蔵 留守番録音：デジタル録音方式 合計録音時間：最大約12分※2

### 〈メモリー容量のめやす〉

音声と画像のメモリーは共用しています。

音声のみの場合	用件録音・通話録音・ 自作応答メッセージの 合計約12分※2
画像のみの場合	メモリー受信 約50枚※3

- 写真や文字の多い原稿は受信できる枚数が少なくなります。  
(例：A4サイズの新聞を画質「ふつう」で受信…  
最大約6枚)
- 録音件数が50件になると録音できなくなります。
- ファクス受信枚数が50枚になると受信できなくなります。

※1 電送時間：A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85本/mm)で高速モード(9600bps)で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状態により異なります。

※2 録音に録音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。

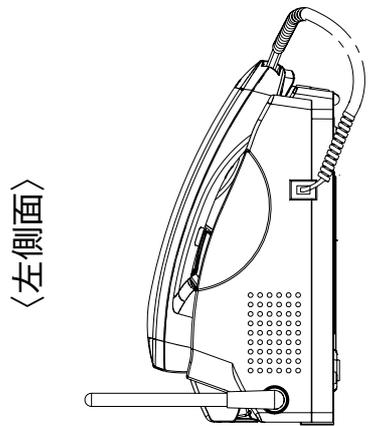
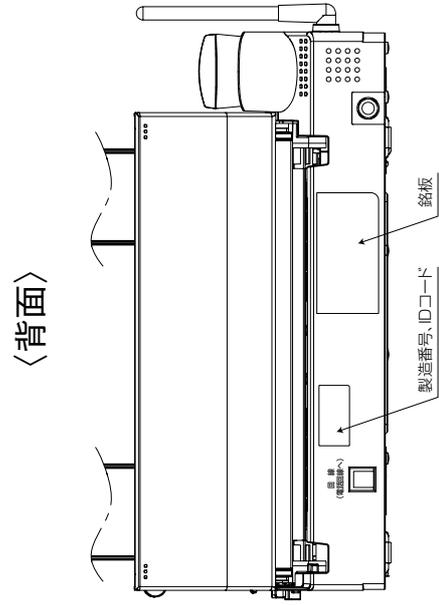
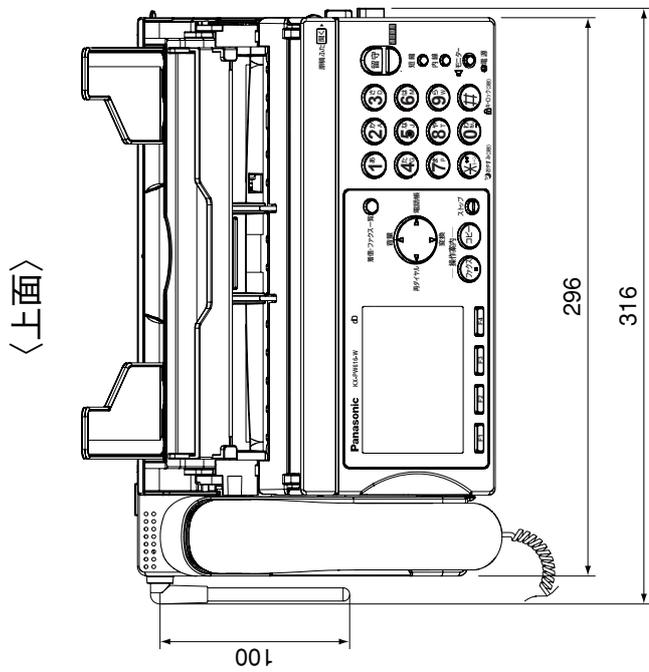
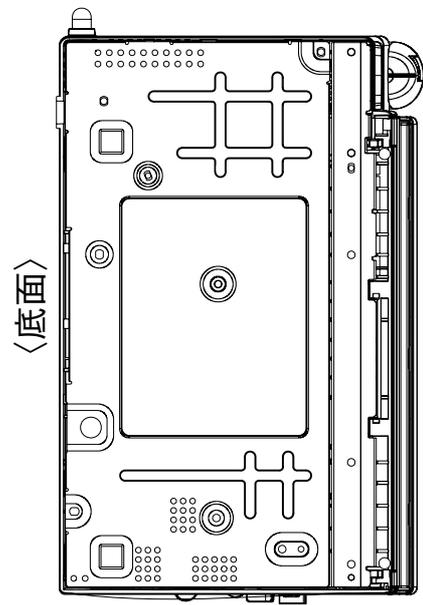
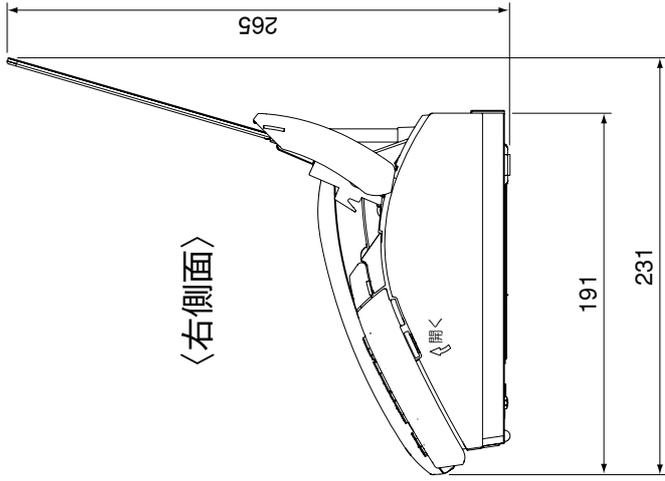
※3 A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85本/mm)で受信したときの枚数です。

### ■付属品・添付品

- 電話機コード(長さ約1.8m)…………… 1
- お試し用インクフィルム(約10m)  
…………… 一式
- お試し用普通紙…………… 一式

仕様／付属品・添付品			
セット品番	VL-SWN355KL	品番	KX-PW616-W
品名	ファクス親機		

単位	mm
縮尺	1/4



<b>外形寸法図</b>			
セット品番	VL-SWN355KL	品番	KX-PW616-W
品名	<b>ファクス親機</b>		



## ■線種と配線距離

配線区間	線種	距離
ドアホン親機～ドアホン	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線：φ0.65～φ0.8 mm	100 m 以内

### ●別売品を接続するとき

配線区間	線種	距離
ドアホン親機～テレコントローラー用 エアコンアダプター	単芯線：φ0.65～φ0.9 mm	30 m 以内
ドアホン親機～A接点出力端子に 接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線：φ0.65～φ0.8 mm	接続する機器の 仕様に従う
ドアホン親機～センサー入力端子に 接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線：φ0.65～φ0.8 mm	50 m 以内
ドアホン親機～テレビ、レコーダー、 センサーカメラ	カテゴリ 5 (100 Base-TX) に 適合したLANケーブル	100 m 以内

## ■工事上のお願い

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
  - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
  - (2) 3 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。  
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、既存配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値（直流ループ抵抗）を測定の上、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行ってください。

絶縁抵抗値	DC500 Vにて1 MΩ以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗10 Ω以内（総延長100 m以内で）

- 既存のチャイム、ベル、ブザーの配線を利用してテレビドアホンに切替える場合は、電池式のチャイム、ベル、ブザー以外は配線にAC100 Vが流れている場合がありますので、これを取り除いてから接続してください。  
(AC100 Vを取り除くには電気工事士資格が必要です)
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください
  - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁（電源線とその他の信号配線材の間）を設ける。
  - ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
  - ・配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。

### 線種と配線距離／工事上のお願い

セット品番	VL-SWN355KL	品番	———
品名	パーソナルファクス付テレビドアホン3-7タイプ		

- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事してください。  
(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC100 V以上の電力線(電灯線)と1 m以上離して配線工事をするか、別々の金属管による配管工事を行ってください。
- ドアホン親機とファクス親機の間には、中継アンテナKX-FAN1が使えませんので、親機どうしはできるだけ電波の強い場所に設置してください。また、ドアホン親機とファクス親機は、3 m程度離して設置してください(電波が飛びにくくなったり、ノイズが入る場合があります)。
- 屋外配線する場合は、雷サージ保護のため、避雷器を取り付けるか、保護管を使用して埋設配線をしてください。感電の原因になることがあります。
- 土中埋設配線する場合は、保護管を使用してください。使用しないと、感電の原因になることがあります。
- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。
- 工事完了後、または接続を変更したときは、必ず呼出し、通話などの動作を確認してください。

## ■ワイヤレス通信について

- ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、約100 m以内の距離で使えます。
- ドアホン親機との間に下記のような障害物などがあると電波が遮られて極端に弱くなります。このため、親機との距離が近くても、プツプツ音がして音声途切れたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、圏外になって使えないことがあります。
  - ・金属製のドアや雨戸
  - ・アルミはく入りの断熱材が入っている壁
  - ・コンクリートやトタン製の壁
  - ・木造の家屋内でも、壁などの障害物が多いとき(ドアホン親機と別の階や別の家屋で、子機やカメラを使うときなど)
- 補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては通信中に雑音が入ることがあります。

### <傍受について>

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースがあります。

- 傍受(ぼうじゅ)とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

### 工事上のお願い/ワイヤレス通信について

セット品番	VL-SWN355KL	品番	———
品名	パーソナルファクス付テレビドアホン3-7タイプ		

## ■電波の干渉について

本機は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉による音声や画像の乱れなど、本機や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の機器から約3m以上離して設置、使用することをおすすめします。

- 電子レンジ
- 無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）
- その他、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用している機器
  - ・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  - ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
  - ・アマチュア無線局
  - ・工場や倉庫などの物流管理システム
  - ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ・マイクロ波治療器
  - ・その他、Bluetooth(TM)対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など
- 本機は、2.4～2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示すマークが貼付されています。

### <電波に関するご注意>

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

### <安全に関するご注意>

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
  - ①水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。
  - ②雷が鳴ったら本体やACアダプターに触れないでください。感電の原因になります。
  - ③医療用電気機器の近くでの設置や使用をしないでください。
  - ④心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離してください。
- パナソニックお客様ご相談センター（365日/受付9時～20時）  
電話（フリーダイヤル）0120-878-365（携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187）  
FAX（フリーダイヤル）0120-878-236

## 電波の干渉について

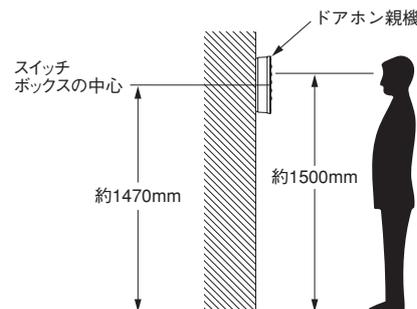
セット品番	VL-SWN355KL	品番	———
品名	パーソナルファクス付テレビドアホン3-7タイプ		

## ■ドアホン親機、ドアホンの設置条件 ( I )

### [1] ドアホン親機の取付位置

よくご利用になる方の目の高さ、モニター画面の中心がくるように取り付けてください。

[設置例] 床面から約1500mmのところ、モニター画面の中心がくるように設置する場合 (右図)。



### [2] ドアホン (カラーカメラ玄関子機 VL-V521L-S) の取り付け位置と映る範囲

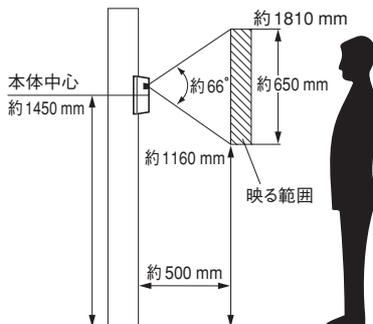
[設定例] 標準位置 (本体中心までの高さ1450mm) または標準位置よりも低い位置 (本体中心までの高さ1100mm) に設置することができます。

### ●設置位置 (カメラ角度調節レバーで設定)

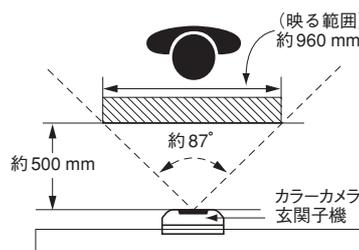
【設置例】標準位置 (本体中心までの高さ約1450mm) に設置する場合、または標準位置よりも低い位置 (本体中心までの高さ約1100mm) に設置する場合、さらに左 (右) に離れた位置に設置する場合には、カメラ角度調節レバーを移動し、映る範囲を調節することができます。

#### (1) カメラ角度 0° (正面) : 出荷時

取付け高さが本体中心約1450mmの高さに設置する場合。



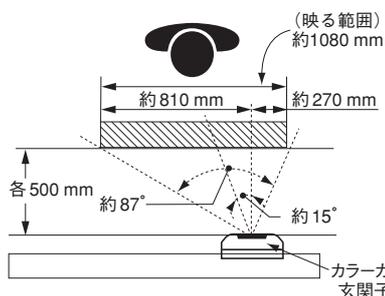
撮像範囲  
(カメラから約500mm離れた場合)



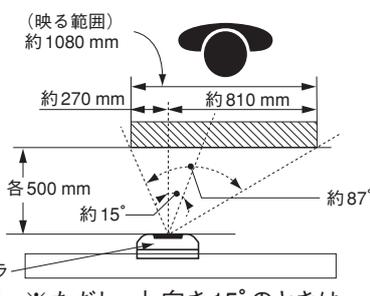
#### (2) カメラ角度 15° (左、右) の場合

撮像範囲  
(カメラから約500mm離れた場合)

〈角度調節レバーを右へ移動〉



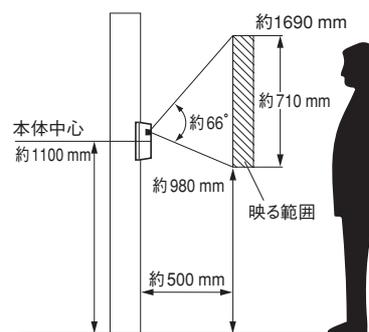
〈角度調節レバーを左へ移動〉



※ただし、上向き15°のときは、左または右向きに約7°までとなります。

#### (3) カメラ角度 15° (上向き) の場合

取付け高さが本体中心約1100mmの高さに設置する場合。

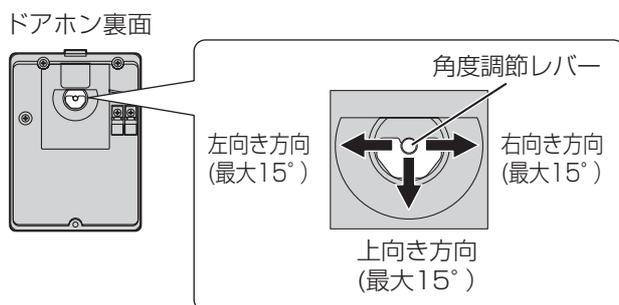


## ドアホン親機、ドアホンの設置条件 ( I )

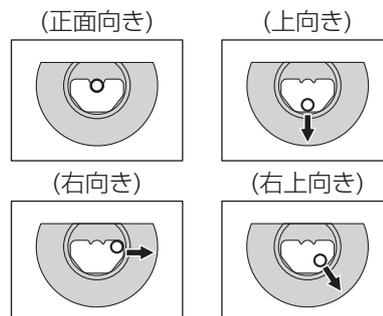
セット品番	VL-SWN355KL	品番	—
品名	パーソナルファクス付テレビドアホン3-7タイプ		

## ■ドアホンの設置条件(Ⅱ)

### [3] カメラレンズの角度調節



<角度調節レバーの調節例>

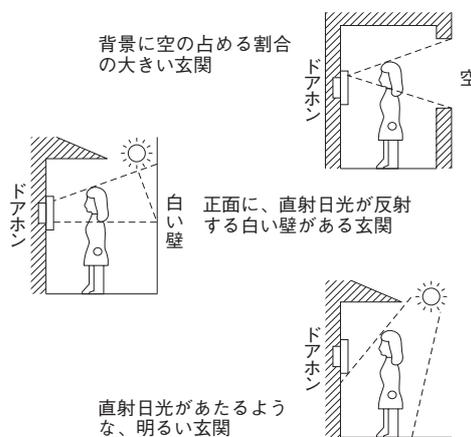


※左向き、左上向きにも調節できます。

### [4] ドアホンの設置について

- ドアホン周囲の温度差によって、ドアホンのパネル部が結露し、映像が見えにくくなる場合があります(故障ではありません)。
- ドアホンの使用温度範囲は-10℃～+50℃(湿度は90%以下)です。
- カメラ部に直射日光(太陽)をあてないでください。
- 人物の背景に太陽が直接映らないような場所に設置してください。
- 垂直な壁(面)に設置してください。
- 本体底面の水抜き穴は、ふさがらないでください。
- 逆光の場合、訪問者の顔が識別しにくくなりますので、設置場所には注意してください。また、右図のような場所にならないように設置してください。

- カメラ部に強い光があたると映像が見えにくくなる場合があります。  
(例：画面に縦の線や光の反射模様が発生する、画面が白っぽくなるなど)
- カメラ部に顔や手を近づけたとき、またはドアホンの周囲が薄暗いときに被写体が少し緑色がかかりますが、故障ではありません。



- 別売のカメラ角度調節台を使用すると、ドアホンの取付け角度を変えることができます。(ただし、映る範囲は変わりません。)

カメラ角度調節台

縦用	VL-1301A	補正角度:上下方向6°
横用	VL-1302A	補正角度:左右方向30°

## ドアホンの設置条件(Ⅱ)

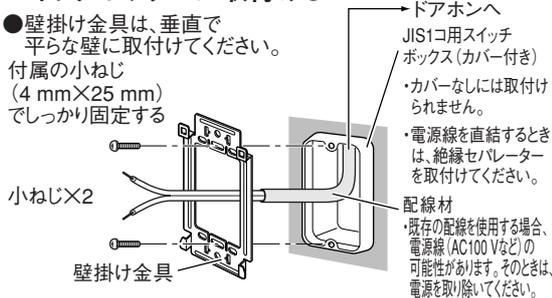
セット品番	VL-SWN355KL	品番	——
品名	パーソナルファクス付テレビドアホン3-7タイプ		

## ■ ドアホン親機の取付けと配線について

### 1. 付属の壁掛け金具を壁面に取付ける

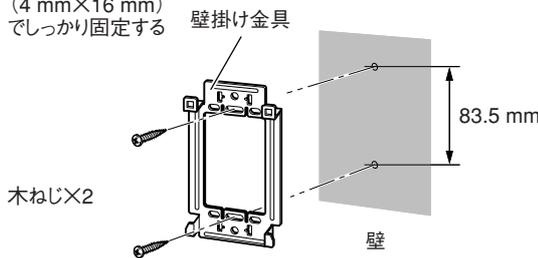
#### ① スイッチボックスに取付ける

- 壁掛け金具は、垂直で平らな壁に取付けてください。付属の小ねじ(4 mm×25 mm)でしっかり固定する



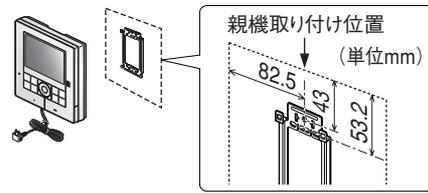
#### ② 壁面に直接取付ける

- 付属の木ねじ(4 mm×16 mm)でしっかり固定する



### ● 壁掛け金具の取付け位置について

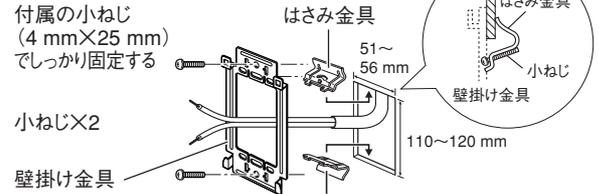
親機の取付け位置が指定されている場合、壁掛け金具は下図の位置に取付けてください。



※ 壁掛け金具は、垂直で平らな壁に取付けてください。

#### ③ パネル壁に取付けるとき

- 付属の小ねじ(4 mm×25 mm)でしっかり固定する



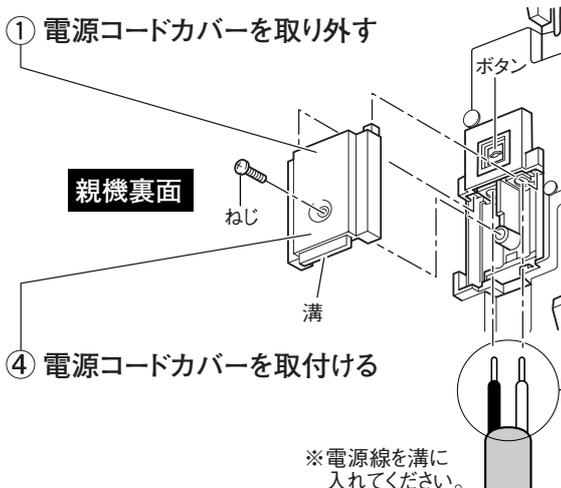
(例) WN3993020のとき ● パナソニック電工(株)製

対象壁	はさみ金具品番
3~10 mm厚の合板	WN3990K
7~18 mm厚の石膏ボード	WN3993020

※ 石膏ボードなどの壁に上図のように穴をあけ、パナソニック電工(株)製のはさみ金具を利用して取付けてください。

### 2. 電源線を接続する [ AC100 V電源線を直結する場合のみ ] ※必ず電気工事士資格を持つ方が工事を行ってください。

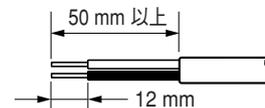
#### ① 電源コードカバーを取り外す



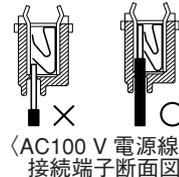
#### ② ボタンを押しながら、電源コードを取り外す

#### ③ ボタンを押しながら、AC100 V電源線を接続する

- 被ふくを12 mm むく (線種: φ 1.6 および φ 2.0 単芯線)



- ボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



(注意) 電源線は端子の奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因になります。

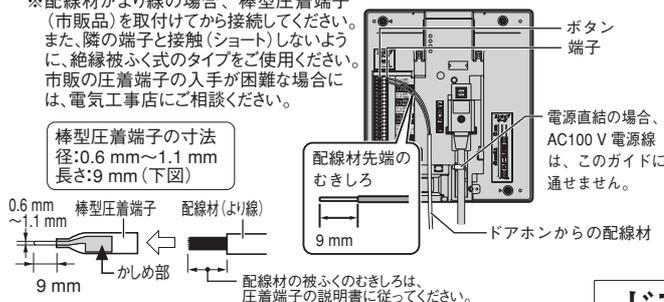
#### ④ 電源コードカバーを取付ける

※ 電源線を溝に入れてください。

### 3. 配線材を接続する

※ 配線図に従って正しく接続してください。配線材の抜き差しは、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながらかけてください。

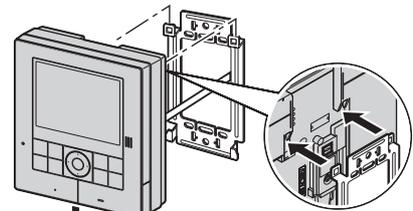
※ 配線材がより線の場合、棒型圧着端子(市販品)を取付けてから接続してください。また、隣の端子と接触(ショート)しないように、絶縁被ふく式のタイプをご使用ください。市販の圧着端子の入手が困難な場合は、電気工事店にご相談ください。



### 5. 電源プラグをコンセントAC100 Vに差し込む [ 電源プラグで使用する場合のみ ]

### 4. ドアホン親機を壁掛け金具に取付ける

#### ① 図のように位置を合わせる



#### ② 親機を押し下げる

### ドアホン親機の取付けと配線について

セット品番	VL-SWN355KL	品番	VL-MWN350KL
品名	ドアホン親機(カラーモニター親機)		